

**2012年3月期  
第2四半期 決算説明会**

---

2011年11月10日

南海電気鉄道株式会社

# 本日の内容

1. 2012年3月期 第2四半期決算の概要 …… P 2
2. セグメント別の状況(2012年3月期第2四半期) … P 5
3. 2012年3月期の業績予想 …… P 14
4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況 …… P 18



# 1. 2012年3月期 第2四半期決算の概要

## 1) 業績ハイライト

(単位: 百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率	増減理由
営業収益	92,056	89,463	2,593	2.8	<b>営業収益</b> 東日本大震災や台風の影響等により、運輸業が減収となったほか、不動産業の分譲マンションの販売減少等による減収
営業利益	11,676	10,555	1,121	9.6	<b>営業利益</b> レジャー・サービス業を除き減益
経常利益	7,584	6,769	815	10.7	<b>四半期純利益</b> 前年同期に下記会計方針変更に伴うタックスプランニングの見直しによる繰延税金資産の取崩しがあったことによる反動増
四半期純利益又は 四半期純損失( )	126	3,606	3,733	-	

会計方針の変更：鉄道事業における連続立体交差化工事等を行うに当たり、地方公共団体等より工事費の一部として工事(2010年9月期)負担金等を受領して固定資産を取得した場合には、取得原価の総額を固定資産に計上しておりましたが、当該工事負担金等を取得した固定資産の取得原価から直接減額する方法に変更いたしました。

# 1. 2012年3月期 第2四半期決算の概要

## 2) 資産、負債及び純資産の状況

(単位:百万円)

	2011年3月末	2011年9月末	増減額	増減理由
流動資産	81,562	77,024	4,537	流動資産 現金及び預金の減少及び大型工事未収金の回収等による減少
固定資産	717,893	716,753	1,140	固定資産 連続立体交差化工事の進捗等による建設仮勘定の増加があったものの、減価償却の進捗や保有株式の株価下落による投資有価証券の減少による減少
資産合計	799,455	793,777	5,677	
負債合計	670,988	665,692	5,295	負債 借入金の返済、支払手形及び買掛金の減少等による減少
純資産	128,467	128,085	381	純資産 四半期純利益の計上があったものの、剰余金の配当やその他有価証券評価差額金の減少による減少
負債純資産合計	799,455	793,777	5,677	
有利子負債残高	493,623	489,538	4,084	長期借入金の減少

# 1. 2012年3月期 第2四半期決算の概要

## 3) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減理由
営業活動による キャッシュ・フロー	16,511	11,913	4,598	営業活動によるキャッシュ・フロー 売上債権の増加による収入の減少
投資活動による キャッシュ・フロー	8,103	7,112	990	投資活動によるキャッシュ・フロー 固定資産の取得による支出の減少
財務活動による キャッシュ・フロー	8,491	6,872	1,618	財務活動によるキャッシュ・フロー 長期借入金の返済による支出の減少

# 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

## セグメントの構成状況 (2011年9月末現在)

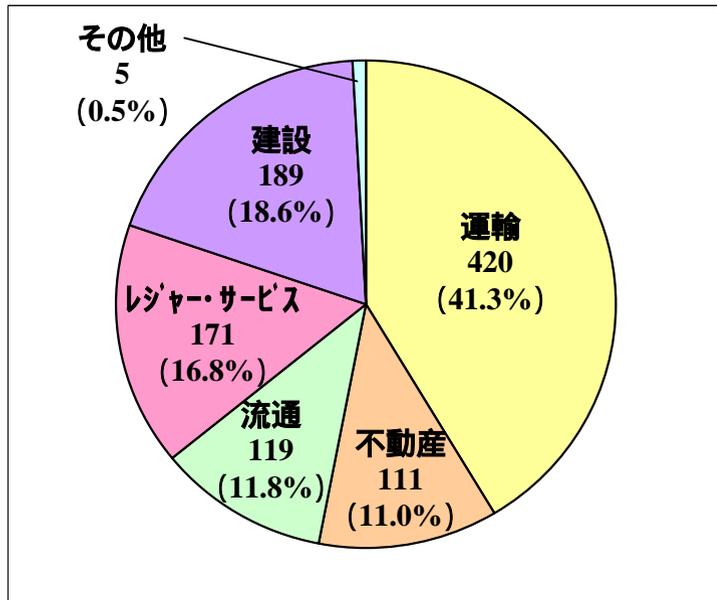
【連結子会社51社・非連結子会社11社・関連会社5社(うち持分法適用会社3社)】

増減(対 2011年3月末現在) 連結子会社の減少 2社(株式会社クマコー旅行及び株式会社ジオナンカイトラベル)

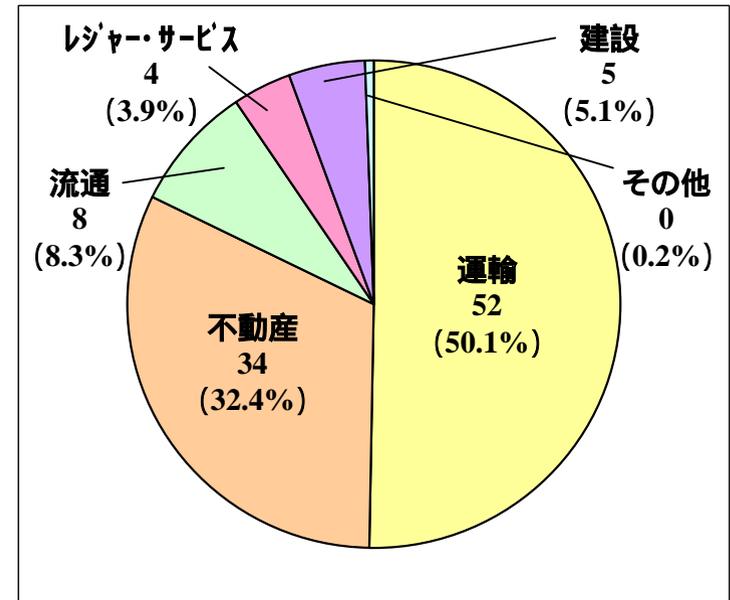
<b>運輸業</b> (29社)	<b>不動産業</b> (4社)	<b>流通業</b> (6社)	<b>レジャー・サービス業</b> (22社)	<b>建設業</b> (5社)	<b>その他の事業</b> (5社)
---------------------	---------------------	--------------------	----------------------------	--------------------	-----------------------

当社は複数セグメントに重複して含まれております。

営業収益 (単位:億円)



営業利益 (単位:億円)



## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 1) セグメント別営業収益

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率
運 輸 業	43,024	42,082	942	2.2
不 動 産 業	12,056	11,167	889	7.4
流 通 業	11,716	11,975	259	2.2
レジャー・サービス業	16,537	17,167	629	3.8
建 設 業	19,841	18,951	889	4.5
そ の 他 の 事 業	774	547	227	29.3
調 整 額	11,895	12,428		
合 計	92,056	89,463	2,593	2.8

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 2) セグメント別営業利益

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率
運 輸 業	5,629	5,275	354	6.3
不 動 産 業	3,866	3,410	456	11.8
流 通 業	1,017	870	146	14.4
レジャー・サービス業	390	413	22	5.6
建 設 業	681	539	142	20.9
そ の 他 の 事 業	79	20	59	74.2
調 整 額	10	26		
合 計	11,676	10,555	1,121	9.6

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 3) 運輸業の実績 (減収減益)

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率	増減理由
鉄 道 事 業	28,061	27,320	741	2.6	鉄道事業及びバス事業 東日本大震災や台風上陸の影響等 による減収
軌 道 事 業	673	707	33	5.0	
バ ス 事 業	12,277	12,038	239	2.0	車両整備業 原油価格上昇に伴う燃料販売収入の 増収
海 運 業	1,017	985	32	3.1	
貨 物 運 送 業	1,792	1,845	53	3.0	
車 両 整 備 業	1,985	2,202	216	10.9	
調整額(セグメント内)	2,783	3,016			
営 業 収 益	43,024	42,082	942	2.2	
営 業 利 益	5,629	5,275	354	6.3	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全 線			2010年9月期	2011年9月期	増減率
旅客収入	定 期	外 期	14,938	14,542	2.6
	定	期	11,717	11,511	1.8
	合	計	26,656	26,054	2.3
輸送人員	定 期	外 期	43,772	42,591	2.7
	定	期	71,891	71,080	1.1
	合	計	115,663	113,671	1.7

(単位:百万円・千人・%)

空港線			2010年9月期	2011年9月期	増減率
旅客収入	定 期	外 期	1,684	1,569	6.9
	定	期	574	550	4.3
	合	計	2,259	2,119	6.2
輸送人員	定 期	外 期	2,026	1,868	7.8
	定	期	1,804	1,720	4.7
	合	計	3,830	3,588	6.3

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 4) 不動産業の実績 (減収減益)

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率	増減理由
不動産賃貸業	9,496	9,289	207	2.2	不動産賃貸業 南海都市創造㈱との合併による減収減益
不動産販売業	2,710	1,935	774	28.6	不動産販売業 分譲マンションの販売減少による減収
調整額(セグメント内)	150	57			主な利益内訳 不動産賃貸業 3,800( 458) 不動産販売業 401( 20)
営業収益	12,056	11,167	889	7.4	
営業利益	3,866	3,410	456	11.8	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 5) 流通業の実績 (増収減益)

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率	増減理由
ショッピングセンターの経営	5,705	5,487	217	3.8	ショッピングセンターの経営 なんばCITYリニューアル効果があったものの、南海都市創造㈱との合併による減収
物品販売業	6,491	6,406	84	1.3	その他
その他	340	541	200	58.9	レンタルDVD店拡大による増収
調整額(セグメント内)	820	460			
営業収益	11,716	11,975	259	2.2	
営業利益	1,017	870	146	14.4	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 6) レジャー・サービス業の実績 (増収増益)

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率	増減理由
遊園事業	607	746	138	22.9	遊園事業 みさき公園入園者数増加による増収
旅行業	955	941	14	1.5	
ホテル・旅館業	663	511	152	23.0	ホテル・旅館業 東日本大震災や台風上陸に伴う宿泊者数減少による減収
競艇施設賃貸業	2,619	2,481	137	5.2	
ビル管理メンテナンス業	8,438	9,515	1,077	12.8	競艇施設賃貸業 営業日数減少に伴う舟券売上の減少による減収
印刷業	377	394	16	4.4	
広告代理業	647	544	102	15.8	
その他	3,227	3,099	127	4.0	ビル管理メンテナンス業 設備工事の増加による増収
調整額(セグメント内)	999	1,067			
営業収益	16,537	17,167	629	3.8	
営業利益	390	413	22	5.6	

## 2. セグメント別の状況(2012年3月期 第2四半期)

### 7) 建設業の実績 (減収減益)

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率	増減理由
建設業	19,341	18,955	385	2.0	建設業 東日本大震災による一部建築資材の 枯渇及び労務費の上昇等による減益
建築材料卸売業	713	-	713	100.0	
調整額(セグメント内)	213	3			建築材料卸売業 南海砂利㈱株式譲渡(前年11月)
営業収益	19,841	18,951	889	4.5	
営業利益	681	539	142	20.9	

### 8) その他の事業の実績 (減収減益)

(単位:百万円・%)

	2010年9月期	2011年9月期	増減額	増減率	増減理由
その他	777	550	227	29.2	
調整額(セグメント内)	2	2			
営業収益	774	547	227	29.3	
営業利益	79	20	59	74.2	

# 3. 2012年3月期の業績予想

## 1) 業績ハイライト

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期			増減理由
		期初予想額	修正予想額	期初予想 との差異	
営業収益	186,164	195,900	192,900	3,000	<b>営業収益</b> 東日本大震災や台風の影響により運輸業において減収を見込むとともに、不動産業、流通業における事業計画の見直しによる減収  <b>営業利益</b> 減収による減益  <b>投資額</b> 工事時期の見直しや工事金額の圧縮による減少  <b>有利子負債残高</b> 投資額の抑制による減少
営業利益	19,900	18,800	17,700	1,100	
経常利益	11,466	11,100	9,900	1,200	
当期純利益	3,054	6,100	5,300	800	
投資額	20,736	43,800	40,200	3,600	
減価償却費	22,620	22,600	22,600	-	
E B I T D A	42,521	41,400	40,300	1,100	
有利子負債残高	493,623	499,600	498,800	800	
有利子負債残高 / E B I T D A 倍率	11.6倍	12.1倍	12.4倍		

E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費

# 3.2012年3月期の業績予想

## 2)セグメント別営業収益

(単位:百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期			増減理由
		期初予想額	修正予想額	期初予想 との差異	
運 輸 業	85,088	84,500	83,800	700	運輸業 東日本大震災や台風の影響を見込み、鉄道事業及びバス事業において減収
不 動 産 業	25,336	26,400	25,900	500	
流 通 業	23,466	27,800	24,000	3,800	不動産業 不動産賃貸業における事業計画の見直しによる減収
レジャー・サービス業	33,659	38,700	38,700	-	
建 設 業	41,157	42,500	43,100	600	流通業 物品販売業における事業計画の見直しによる減収
そ の 他 の 事 業	1,663	1,400	1,400	-	
調 整 額	24,208	25,400	24,000		
合 計	186,164	195,900	192,900	3,000	

# 3. 2012年3月期の業績予想

## 3) セグメント別営業利益

(単位: 百万円)

	2011年3月期 実績	2012年3月期			増減理由
		期初予想額	修正予想額	期初予想との差異	
運輸業	10,269	9,900	9,300	600	運輸業 東日本大震災や台風の影響による 鉄道事業及びバス事業の減収による減益
不動産業	6,459	5,400	5,200	200	不動産業 不動産賃貸業における事業計画の見直しによる減収による減益
流通業	1,681	1,300	1,100	200	流通業 物品販売業における事業計画の見直しによる減収による減益
レジャー・サービス業	209	1,100	900	200	レジャー・サービス業 東日本大震災や台風の影響による ホテル・旅館業の減収による減益
建設業	1,225	1,000	1,000	-	
その他の事業	180	100	100	-	
調整額	125	0	100		
合計	19,900	18,800	17,700	1,100	

# 3. 2012年3月期の業績予想

## 4) 運輸業 鉄道旅客収入と輸送人員表

(単位:百万円・千人・%)

全線		2011年3月期 実績	増減率 (対前年)	2012年3月期 期初予想	増減率 (対前年)	2012年3月期 修正予想	増減率 (対前年)
旅客収入	定期外	29,407	0.2	29,452	0.2	29,103	1.0
	定期	22,922	1.5	22,791	0.6	22,689	1.0
	合計	52,329	0.8	52,243	0.2	51,792	1.0
輸送人員	定期外	86,581	0.0	86,872	0.3	85,645	1.1
	定期	139,484	0.6	138,643	0.6	138,825	0.5
	合計	226,065	0.3	225,515	0.2	224,470	0.7

(単位:百万円・千人・%)

空港線		2011年3月期 実績	増減率 (対前年)	2012年3月期 期初予想	増減率 (対前年)	2012年3月期 修正予想	増減率 (対前年)
旅客収入	定期外	3,257	1.3	3,259	0.1	3,161	2.9
	定期	1,130	0.3	1,135	0.4	1,111	1.7
	合計	4,388	1.0	4,394	0.1	4,272	2.6
輸送人員	定期外	3,912	1.1	3,934	0.6	3,781	3.3
	定期	3,545	0.5	3,559	0.4	3,478	1.9
	合計	7,457	0.8	7,493	0.5	7,259	2.7

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### 「凜進130計画」の基本方針と数値目標(2011年度～2014年度)

#### 1) 基本方針

観光・インバウンドビジネスの推進  
不動産・流通事業の拡大  
新たな事業領域への進出  
なんばのまちづくり推進  
グループ経営基盤の強化

#### 2) 数値目標(最終年度2015年3月期)

連結営業収益 2,300億円以上  
連結経常利益 130億円以上  
連結有利子負債残高 / EBITDA倍率 10倍台

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 成長戦略の実現に向けた推進体制の構築

### 観光・インバウンドビジネスの推進体制の整備

- ・観光・インバウンド戦略の企画・立案・推進を担当する組織を新設
- ・組織横断的な「インバウンド推進委員会」にて、インバウンドの取り組みを強化

#### < 主な取り組み >

- ・京都・関空アクセスきっぷの販売(2011年5月)
- ・4か国語対応レールマップの配布開始(2011年10月)
- ・観光・インバウンド対応商品の開発
- ・情報発信の強化



京都アクセスきっぷ

事業の拡大と成長に向けたM & A、アライアンスを検討・推進する組織を新設

不動産・流通事業の拡大に向けた組織再編を実施

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 1) 運輸業

環境に優しい公共交通機関として安全・安心の維持・向上  
人口減等将来の社会構造に適応した効率的な事業体制構築  
海外からのインバウンドを含む、沿線外からの旅客誘致の推進

公共交通機関として安全・安心の維持・向上

新型ATSの整備等、安全投資を実施

・2010年度実績：約50億円、2011年度計画：約80億円

駅バリアフリー化工事の推進

・2010年度：みさき公園駅をはじめとする8駅の工事完了

・2011年度：美加の台駅をはじめとする5駅で工事着工

南海線で連続立体交差事業を推進

・堺市内、高石市内、泉大津市内



バリアフリー化工事を実施した  
みさき公園駅



建設中の泉大津連立

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 1) 運輸業

### 効率的な事業体制の構築

鉄道建設工事推進体制の効率化

仕様(質・量)を落とさない工事費削減の取組み

支線の係員配置の見直しによる業務委託費の削減



新型特急「サザン」12000系  
(サザン・プレミアム)

### 沿線外からの旅客誘致推進

新たな旅客誘致策の強化

・新型特急「サザン」12000系運転開始

(2011年9月)

・ICカードによる全国相互利用に向けた取組み推進

(2013年春予定)

関西空港関連輸送の拡充、新規バス路線の開設

・新規リムジンバス路線の開設「関西空港～津山線」(2011年7月)

・リムジンバス路線の増便「関西空港～京都線」(2011年7月)

・新規バス路線の開設「堺東・堺～南港(ATC)」(2011年9月)

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 2) 不動産業

### (賃貸業)

新規物件取得や新たな事業領域への進出による事業拡大

### (販売業)

既存物件の早期資金回収の継続及びマンション・戸建分譲事業の拡大

### 賃貸業 新規賃貸物件の取得

首都圏のオフィスビルを中心に取得検討中

### 高架下における賃貸事業の展開

駅間の高架下用地等を利用し、駐車場の経営、貸事務所の運営等お客さまのニーズに応えた多角的な事業活動を展開

- ・堺市内高架下で事務所施設賃貸 2012年2月開業予定
- ・大阪市内高架下で事務所施設賃貸 2012年2月開業予定



高架下事業の展開

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 2) 不動産業

### 販売業 既存物件の早期資金回収

「彩の台」や「つばさが丘」を中心に既存住宅地の販売促進

### 販売業 マンション分譲の展開

～デラッセ天王寺玉造～

【物件概要】

所在地: 大阪市天王寺区

建物構造: 鉄筋コンクリート造地上15階建

総戸数: 56戸

入居開始: 2013年1月下旬予定



デラッセ天王寺玉造(イメージ)

(参考) 2011年度 主な分譲マンション物件

物件名称	物件所在地	物件戸数
なんばグランドマスターズタワー( )	大阪市浪速区	321戸
ビッグカーサ堺しらすぎ駅前( )	堺市北区	626戸
メゾンドデラッセ住ノ江安立	大阪市住之江区	49戸
阿倍野松崎町レジデンス( )	大阪市阿倍野区	74戸

( ) 他社との共同事業物件



阿倍野松崎町レジデンス(イメージ)

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 3) 流通業

既存商業施設のブラッシュアップによる収益力の向上  
収益基盤の拡充

～小売・飲食事業等の強化・拡大、PM機能強化～

既存商業施設のブラッシュアップによる収益力の向上  
なんばCITY再生リニューアルグランドオープン

リニューアルにより、ファッション、雑貨、カフェを中心に  
86店舗が新しくオープン。周辺との回遊性とにぎわいを創出

オープン日	2011年4月26日
対象店舗	86店舗
投資総額	約47億円

なんばパークスリニューアル

深化し続ける施設を目指し、2期物販店エリアを  
中心としたテナント入替えを実施

オープン時期	2012年3月予定
対象店舗	75店舗
投資総額	約5億円



リニューアルオープン時のなんばCITY

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 3) 流通業

### 収益基盤の拡充

#### 駅ナカ事業の沿線外展開

南海グループの南海商事と東急不動産の共同事業体が大阪市交通局御堂筋線の駅ナカ事業の運営管理予定者に決定。テナントリーシングからマネジメントまでを一貫して行い、「駅ナカ商業施設」の受託運営を展開。

事業対象場所	オープン時期	延べ面積
大阪市交通局御堂筋線 天王寺駅	2013年4月頃	約627㎡
大阪市交通局御堂筋線 なんば駅	2013年10月頃	約953㎡
大阪市交通局御堂筋線 梅田駅	2014年4月頃	約473㎡



梅田駅の店舗(イメージ)

#### 高齢者専門宅配弁当事業に参入(2011年9月)

シニア層向けの沿線生活支援事業の一環として宅配弁当事業を徳島県内で開始。

今後は大阪府や和歌山県での事業展開に向けて検討を推進。



宅配弁当の一例

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 4) レジャー・サービス業

(レジャー)

グループ連携力による国内外からの顧客誘致の促進

(サービス)

収益基盤の拡充

～ビルメンテナンス事業、葬祭事業、マンション管理事業、PPP事業等～

### 収益基盤の拡充

#### ビル管理メンテナンス業

ビルメンテナンス業や施設の運営代行事業などを中心に関西圏、首都圏において新規管理物件を獲得

#### 葬祭ビジネスの拡大

- ・8号店「ティア美原」開業(2011年5月)
- ・9号店「ティア大野芝」開業(2011年10月)
- ・10号店「ティア大阪狭山」(今冬開業予定)



葬儀会館ティア美原店

## 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

### 5) 建設業

グループ連携による鉄道関連工事分野に続く事業領域の育成  
与信管理の徹底等による経営基盤の整備・強化

- ・民間非住宅分野、首都圏での受注拡大
- ・工事原価管理の一層の強化と諸経費削減の推進

### 6) その他

- ・環境活動への取組み  
南海電鉄本社でのISO14001の認証取得に向けた取組み(2012年3月取得予定)

# 4. 中期経営計画「凜進130計画」の進捗状況

## 参考 なんばのまちづくり推進

### 南海会館ビル建替計画について

南海会館ビル建替え先行工事着手(2011年7月)

### 難波C街区計画について

#### 1. 事業方針

Zapp誘致による広域からの集客力向上

大阪府立大学誘致による観光・インバウンド戦略拠点の構築

#### 2. 施設構成

Zapp Namba (OSAKA)【ライブホール】、オフィスビル

#### 3. オフィスビルの概要

構成: 大阪府立大学、南海電鉄本社

構造: 鉄骨造 地上12階建て

延床面積: 約16,700㎡

工事着工: 2011年9月

#### 4. スケジュール

Zapp Namba (OSAKA) (2012年春オープン予定)

オフィスビル(2012年12月完成予定)

本社機能移転完了(2013年3月予定)



難波C街区計画(イメージ)

## 南海電気鉄道株式会社

〒542-8503 大阪府中央区難波五丁目1番60号

経営政策室 経営企画部(IR担当)

TEL:06-6644-7105 FAX:06-6644-7108

URL:<http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照ください。本資料で記述しております業績予想及び将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する場合がありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。

